

【研究の名称】

高齢入院患者の紙おむつ使用に関連する因子及び紙おむつ使用のアウトカムへの影響の検討

【研究の目的・意義】

入院高齢者は日常生活活動が低下しやすく、日常生活活動の低下は生活の質の低下につながります。日常生活活動が低下した入院高齢者は、一時的に紙おむつを使用することがあります。紙おむつは、ベッド上で排泄が可能になりますが、トイレでの排泄の機会減少、紙おむつの経済的コスト、患者および介護者の心理的負担をつな갑니다。看護やリハビリテーション目標において、紙おむつからトイレでの排泄の移行が掲げられることが多いですが、紙おむつ使用に関連する改善可能な因子は十分に検討されていません。本研究では紙おむつ使用に関連する因子及び紙おむつ使用のアウトカム（日常生活活動、在院日数、転帰先、再入院率）に影響する因子を明らかにすることです。研究成果は入院高齢者への排泄支援の発展につながることを期待されます。

【研究の方法および期間】

2018年4月～2019年3月に当院に入院し、リハビリテーションを実施し、地域包括ケア病棟に入棟した75歳以上の患者様を対象とします。入院前に日常生活動作が自立していない患者様は本研究から除きます。

調査項目は研究対象者の基本属性として年齢、性別、診断名、既往歴、家族背景、リハビリテーション時間、紙おむつ使用の有無、身体拘束の有無、FIM（日常生活動作評価）、在院日数、転帰先、再入院日を診療記録より調査します。

【研究協力の辞退について】

この研究に協力を希望されない患者様は、下記担当者までお知らせ下さい。研究に協力されない場合であっても、患者様が不利益を被ることはありません。

【個人情報の保護】

本研究では患者様のカルテからデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護に最大限の注意を払い、匿名化の確保を行います。統計処理のため院外（群馬パース大学）に得られた情報を持ちだす場合は、個人情報の保護に十分に配慮し、個人が特定できる情報を削除します。さらに、データのデジタル化、第三者が閲覧することができないようにファイルにパスワードを設定し、持ち運びます。この研究で得られた成果は、今後、学会発表や学術雑誌等で公に発表されることがありますが、研究対象者を特定できる情報を公開することはありません。

2021年12月13日

【問い合わせ先】

〒370-0006

群馬県高崎市間屋町 1-7-1

TEL 027-365-3366 mail:kenkondoot@gmail.com

群馬パース大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教 近藤健